

DP1 薬剤師としての倫理観

医療人として高い倫理観と豊かな人間性を持ち、患者、家族、生活者の人権や尊厳に配慮して、人の命と健康な生活を守るために行動します。

主な科目群: **使命感・倫理観構築** **薬事関係法規教育** 統合薬学教育

学年	開講期	科目名	客観試験	口頭試験	論述試験	実地試験	レポート	プロダクト評価	観察記録	プレゼンテーション	シミュレーション試験	ポートフォリオ	リフレクションペーパー
1年	前期	薬学入門					○	○					
		キャリア教育					○	○	○				
		QOLと人間の尊厳					○	○	○	○			
		総合学習Ⅰ					○	○		○			○
		★倫理学			○								
	★ボランティア活動					○			○				
	後期	法学	○		○		○						
2年	前期	★日向国地域論					○						
		医療概論					○			○			
		医事法学総論	○		○		○						
	後期	総合学習Ⅱ					○	○		○			
3年	前期	★くすりの歩み					○	○		○			
		★哲学			○								
		★国際保健福祉論			○		○						
		薬学と生命倫理Ⅰ	○		○		○						
		薬学と生命倫理Ⅱ					○		○				
		総合学習Ⅲ					○	○	○	○			

アセスメントの時期:1~3年生終了時

レポート、プロダクト評価等により、高い倫理観と豊かな人間性、患者・家族・生活者の人権や尊厳が医療人に求められていることが理解できているかを評価します。

4年	前期	通年	基礎薬学総合演習	○									
		前期	薬事関係法規Ⅰ	○		○							
		前期	実務実習事前学習Ⅰa	○	○		○	○		○	○	○	
		前期	実務実習事前学習Ⅰb	○	○		○	○		○	○	○	
	後期	実務実習事前学習Ⅰc	○	○		○	○		○	○	○		
	後期	医事法学演習	○		○		○			○			
	後期	実務実習事前学習Ⅱa					○	○			○		
		実務実習事前学習Ⅱb				○			○				

アセスメントの時期:4年生終了時

シミュレーション、実地試験等により、高い倫理観と豊かな人間性、患者・家族・生活者の人権や尊厳に配慮して、人の命と健康な生活を守るために何をすべきかが理解できているかを評価します。

5年	通年	実務実習Ⅰ					○		○	○		○	
		実務実習Ⅱ					○		○	○		○	
		特別研究Ⅰ					○	○	○	○		○	
		先端医療学					○		○				
		病院薬学演習				○			○				
		一般用医薬品学演習	○		○	○	○					○	
		食品医薬品相互作用論	○		○			○	○	○			

アセスメントの時期:実務実習期間中

実地試験、観察記録等により、高い倫理観と豊かな人間性、患者・家族・生活者の人権や尊厳に配慮して、人の命と健康な生活を守るために指導者の指導のもとで行動できるかを評価します。

6年	前期	薬事関係法規Ⅱ	○		○								
		治験コーディネーター論	○		○								
		薬学総合演習Ⅰ	○										
	後期	特別研究Ⅱ					○	○	○	○		○	
		薬学総合演習Ⅱ	○										

アセスメントの時期:卒業判定時

ルーブリック評価により、高い倫理観と豊かな人間性、患者・家族・生活者の人権や尊厳に配慮して、人の命と健康な生活を守るためのより高度な行動を可能にする知識が修得できているかを評価します。

DP2 患者を中心としたチーム医療への参画

常に患者の立場に立ち、コミュニケーション能力をもって患者・患者家族・他の医療職種と相互の立場を尊重した人間関係を構築してチーム医療へ参画します。

主な科目群: **使命感・倫理観構築** **語学・情報教育** 統合薬学教育

学年	開講期	科目名	客観試験	口頭試験	論述試験	実地試験	レポート	プロダクト評価	観察記録	プレゼンテーション	シミュレーション試験	ポートフォリオ	リフレクションペーパー
1年	前期	キャリア教育					○	○	○				
		総合学習Ⅰ					○	○		○			○
		コミュニケーション論	○	○							○		
		★倫理学			○								
	後期	★ボランティア活動					○			○			
		情報処理入門			○		○						
		プレゼンテーション概論			○		○				○		
		外書講読Ⅰ	○		○								
2年	前期	医療概論					○			○			
		機能形態学Ⅱ	○		○								
		総合学習Ⅱ						○		○			
		★哲学			○								
	後期	★国際保健福祉論			○			○					
		外書講読Ⅱ	○										
		★情報処理演習			○		○						
		★身体の特異な働き						○					○
3年	前期	薬学と生命倫理Ⅰ	○		○		○						
		薬学と生命倫理Ⅱ						○		○			
	後期	総合学習Ⅲ						○	○	○	○		
		外書講読Ⅲ	○					○					
後期	医薬情報学	○					○					○	

アセスメントの時期: 1~3年生終了時

論述試験、レポート等により、患者の立場を理解し、患者を中心としたチーム医療に必要なコミュニケーション能力とはどのようなものかを理解できているかを評価します。

4年	通年	基礎薬学総合演習	○										
		実務実習事前学習Ⅰa	○	○		○	○		○	○	○		
		実務実習事前学習Ⅰb	○	○		○	○		○	○	○		
	後期	実務実習事前学習Ⅰc	○	○		○	○		○	○	○		
		コミュニケーション演習	○		○					○	○		
		★医薬情報学演習	○					○	○	○			
		★薬学英語Ⅱ						○					
		実務実習事前学習Ⅱa				○	○					○	
後期	実務実習事前学習Ⅱb				○	○						○	

アセスメントの時期: 4年生終了時

実地試験・観察記録、シミュレーション等により、患者の立場に配慮し何をなすべきかが理解でき、医療現場をシミュレートした状況下で行動できるかを評価します。

5年	通年	実務実習Ⅰ					○		○	○		○	
		実務実習Ⅱ					○		○	○		○	
		特別研究Ⅰ					○	○	○	○		○	
		先端医療学					○			○			
		病院薬学演習				○				○			
		一般用医薬品学演習	○		○		○			○		○	
		食品医薬品相互作用論	○		○			○	○	○			

アセスメントの時期: 実務実習期間中

実地試験・観察記録、レポート等により、患者の立場に立ち、医療現場で指導者の指導のもと適切に行動できるかを評価します。

6年	前期	治験コーディネーター論	○		○								
		薬学総合演習Ⅰ	○										
	後期	特別研究Ⅱ					○	○	○	○		○	
		薬学総合演習Ⅱ	○										

アセスメントの時期: 卒業判定時

ルーブリック評価により、患者を中心としたチーム医療への参画を一層推進するための知識・技能・態度が修得できているかを評価します。

DP3 最適な薬物療法の実践

ディプロマポリシー: 医薬品・化学物質等の生体及び環境に対する影響を理解した上で、適切に管理・供給し、個々の患者に適した安全で効果的な薬物療法を実践します。

学年	開講期	科目名	客観試験	口頭試験	論述試験	実地試験	レポート	プロダクト評価	観察記録	プレゼンテーション	シミュレーション試験	ポートフォリオ	リフレクションペーパー
3年	前期	生物有機化学	○										
		東洋医薬学	○		○							○	
		機器分析学	○		○			○					
		生薬学実習	○		○			○	○	○			
		臨床検査学			○			○					
		細胞生物学	○										○
		免疫学	○										○
		生化学実習		○				○	○		○		
		生理・薬理学V	○		○								
		生理・薬理学VI	○		○								
	公衆衛生学	○	○										
	基礎薬理学実習	○	○	○				○				○	
	薬剤学III	○		○					○				
	薬物動態学 I	○		○									
	製剤学	○				○							
	薬物治療学 I	○		○									
	後期	有機化学IV	○										
		反応有機化学	○										
		天然医薬品化学 I	○		○								
		応用機器分析学	○		○								
細菌学		○										○	
衛生化学 II		○	○										
薬物代謝学		○		○									
応用薬理学		○		○									
薬理学実習		○	○	○									
衛生薬学実習		○	○				○			○			
薬物動態学 II	○		○		○								
調剤学	○		○										
薬物治療学 II	○												
薬局方概論	○		○										
薬剤学実習			○				○		○				

アセスメントの時期: 2~3年生終了時

客観試験、論述試験等により、薬物療法を実践する上で必要な生体の構造と機能、生体構成成分の構造と役割、医薬品の構造・性質と生体への作用及び環境物質等の構造・性質と生体への影響が理解できているかを評価します。

4年	前期	医薬品化学	○										
		漢方治療学	○		○							○	
		天然医薬品化学 II	○		○								
		遺伝子工学	○		○								
		薬物治療学 III	○										
		薬物治療学 IV	○										
		一般用医薬品学	○		○								
		薬事関係法規 I	○		○								
	後期	実務実習事前学習 I a	○	○			○	○		○	○	○	
		実務実習事前学習 I b	○	○			○	○		○	○	○	
		実務実習事前学習 I c	○	○			○	○		○	○	○	
		腫瘍治療学			○				○				
		★栄養管理学	○		○								
		★食品栄養学	○	○									
		薬物治療学 V	○	○							○		
		薬物治療学 VI	○		○								
医事法学演習	○		○			○			○				
実務実習事前学習 II a					○	○				○			
実務実習事前学習 II b					○	○		○					

アセスメントの時期: 4年生終了時

客観試験、論述試験等により、医薬品の適切な管理・供給、個々の患者に適した安全で効果的な薬物療法について理解できているかを評価します。

DP3 最適な薬物療法の実践

ディプロマポリシー:医薬品・化学物質等の生体及び環境に対する影響を理解した上で、適切に管理・供給し、個々の患者に適した安全で効果的な薬物療法を実践します。

学年	開講期	科目名	客観試験	口頭試験	論述試験	実地試験	レポート	プロダクト評価	観察記録	プレゼンテーション	シミュレーション試験	ポートフォリオ	リフレクションペーパー
5年	通年	実務実習Ⅰ					○		○	○		○	
		実務実習Ⅱ					○		○	○		○	
		特別研究Ⅰ					○	○	○	○		○	
		★漢方治療学演習							○	○			
		★乱用薬物毒物学	○	○									
		セーフティマネジメント演習		○	○			○		○	○		
		先端医療学						○			○		
		病院薬学演習					○			○			
		一般用医薬品学演習	○		○	○	○	○		○		○	
食品医薬品相互作用論	○		○				○	○	○				
6年	前期	薬事関係法規Ⅱ	○		○								
		治験コーディネーター論	○		○								
		薬学総合演習Ⅰ	○										
	後期	特別研究Ⅱ					○	○	○	○		○	
	薬学総合演習Ⅱ	○											

アセスメントの時期:5年～卒業判定時

ルーブリック評価により、より高度な薬物療法を実践する上で必要な問題解決能力が身についているかを評価します。

DP4 地域の保健医療への貢献

ディプロマポリシー:地域住民の視点に立ち、地域の保健医療のニーズを理解した上で、他職種と連携して人々の健康増進と公衆衛生の向上に貢献します。

主な科目群: **医療系専門教育** 統合薬学教育

学年	開講期	科目名	客観試験	口頭試験	論述試験	実地試験	レポート	プロダクト評価	観察記録	プレゼンテーション	シミュレーション試験	ポートフォリオ	リフレクションペーパー	
1年	後期	基礎生化学	○		○		○							
		病気を知る	○		○									
		機能形態学Ⅰ	○		○									
		環境科学	○	○										
2年	前期	生物統計学	○		○									
		生化学Ⅰ			○		○							
		機能形態学Ⅲ	○		○									
		衛生化学Ⅰ	○	○										
	後期	★身体の特長と働き						○						○
		分析化学Ⅲ	○	○										
		生化学Ⅱ	○		○			○						
		生化学Ⅲ	○										○	
3年	前期	公衆衛生学	○	○										
		衛生化学Ⅱ	○	○										
	後期	薬物代謝学	○		○									
		衛生薬学実習	○	○				○		○				
4年	前期	実務実習事前学習Ⅰa	○	○		○	○		○	○	○			
		実務実習事前学習Ⅰb	○	○		○	○		○	○	○			
		実務実習事前学習Ⅰc	○	○		○	○		○	○	○			
	後期	★食品栄養学	○	○										
		★栄養管理学	○		○									
		実務実習事前学習Ⅱa				○	○					○		
		実務実習事前学習Ⅱb				○	○			○				
		実務実習事前学習Ⅱc				○	○			○				○

アセスメントの時期:1~4年生終了時

客観試験、論述試験等により、健康な生活を営むために必要な環境衛生、食品衛生、公衆衛生、化学物質の毒性について理解できているかを評価します。

5年	通年	実務実習Ⅰ					○		○	○		○		
		実務実習Ⅱ					○		○	○		○		
		特別研究Ⅰ					○	○	○	○		○		
		★乱用薬物毒物学	○	○										
		セーフティマネージメント演習		○	○				○		○			
		先端医療学					○			○				
		病院薬学演習					○			○				
		一般用医薬品学演習	○		○	○	○			○		○		
食品医薬品相互作用論	○		○		○		○	○	○					

アセスメントの時期:実務実習期間中

実地試験・観察記録、レポート等により、地域住民の健康増進と公衆衛生の向上に向けて指導者の指導のもとで他職種と適切に連携して行動できるかを評価します。

6年	前期	治験コーディネーター論	○		○								
		薬学総合演習Ⅰ	○										
		特別研究Ⅱ					○	○	○	○		○	
	後期	薬学総合演習Ⅱ	○										

アセスメントの時期:卒業判定時

ルーブリック評価により、地域保健医療の問題点を見出して解決策を提案するための知識・技能・態度が修得できているかを評価します。

DP5 医療の進歩への貢献

ディプロマポリシー: 自己研鑽に努め、問題点や社会的動向を把握し、解決に向けて取り組む姿勢を持つとともに、次世代を担う人材の養成を行い、薬学・医療の進歩と改善に貢献します。

主な科目群: **語学・情報教育** 統合薬学教育

学年	開講期	科目名	客観試験	口頭試験	論述試験	実地試験	レポート	プロダクト評価	観察記録	プレゼンテーション	シミュレーション試験	ポートフォリオ	リフレクションペーパー
1年	前期	情報処理入門			○	○							
		英語 I			○								
	後期	プレゼンテーション概論			○	○				○			
		外書講読 I	○		○								
		★英語 II			○								
2年	前期	★情報処理演習			○	○							
	後期	★薬学英語 I	○				○		○				
3年	前期	外書講読 III	○				○						

アセスメントの時期: 1~3年生終了時

論述試験、客観試験等により、社会的動向を把握するために必要な語学力や情報を収集・処理・発信する能力が身についているかを評価します。

4年	前期	実務実習事前学習 I a	○	○		○	○		○	○	○		
		実務実習事前学習 I b	○	○		○	○		○	○	○		
		実務実習事前学習 I c	○	○		○	○		○	○	○		
	後期	実務実習事前学習 II a				○	○				○		
		実務実習事前学習 II b				○			○				
		実務実習事前学習 II c				○	○		○				○
5年	通年	実務実習 I					○		○	○		○	
		実務実習 II					○		○	○		○	
		特別研究 I					○	○	○	○			○
		セーフティマネジメント演習		○	○			○		○	○		
		先端医療学					○			○			
		病院薬学演習					○			○			
		食品医薬品相互作用論	○		○		○	○	○				

アセスメントの時期: 4~5年生終了時

実地試験・観察記録、レポート等により、現状の医療の問題点や社会的動向を把握し、解決に向けて取り組むとともに、次世代を指導する薬剤師の役割と重要性について理解しているかを評価します。

6年	前期	治験コーディネーター論	○		○								
		薬学総合演習 I	○										
		特別研究 II					○	○	○	○		○	
	後期	薬学総合演習 II	○										

アセスメントの時期: 卒業判定時

ルーブリック評価により、自己研鑽に努めるとともに医療の問題点を見出して解決策を提案するための知識・技能・態度が修得できているかを評価します。